会員ID

使用色・構図・登場人物から読み取れる傾向

明るい色（黄色・水色・赤・緑など)か豊富で、情緒的な活発さや好奇心が感じられます。
一方で、黒の筆圧の強い塗り重ねも見られ、エネルギーの高まりや、伝えたい「強い気持ち」も表れています。
全体に画面を埋め尽くすような大胆な構成。これは「のびのびと描く力」＝自分を表現する力が育っている証拠です。
左から右へ、空・家・人物・花などが展開され、絵の中に“物語”があるように見えます。
大きく目や顔を描かれた人物（右側）小さく描かれた人物（左下）が対比的。
右側の人物は「自己像」または「印象的な大人（保護者)」を描いた可能性があります。
左下の小さな人物は、弟妹や友達など、関係性を示唆する存在かもしれません
「家族・自分・気になる人やもの」がテーマになっていると見られます。
絵の中で、さまざまな感情（楽しい・不思議・ちょっと不安など）が同居しています。

子どもの気持ちの変化や気になるサイン

情緒はおおむね安定しており、自分の感情を自由に出せる環境にいると感じられます。
ただし、黒や赤の重ね塗りが集中している部分は、一時的な不安・混乱・刺激の強い経験を表しているかもしれません（例：人とのトラブル・びっくりした出来事など)。
絵の中の人の目・顔が強調されていることから、他者からの視線・評価に敏感な時期、または「見てほしい」気持ちが強まっているサインとも読み取れます。

保護者へのアドバイス

「自由に描いていいんだよ」と伝え、表現の幅を広げてあげましょう。
描きたいときに描ける環境（クレヨン・紙など）をいつでも用意しておくのが理想です。
色や線を評価せず、「気づき」に目を向ける声かけを。
例：「この色、元気な色だね」「いっぱい描いたね」「この人はどんな人かな？」
絵をきっかけに会話をしてみましょう。
例：「今日、楽しかったことある？」「この人の名前あるの？」など、絵の中の要素を通じて会話を促すことで、言葉と感情の結びつきも育ちます。
黒の強い塗りが繰り返されるときや、顔・人を描くのが減ったときなどは、少し気持ちの揺らぎがあるかもしれません。無理に聞かず、抱きしめて安心感を与えてください。

NAME	FREQUENCY	DATE